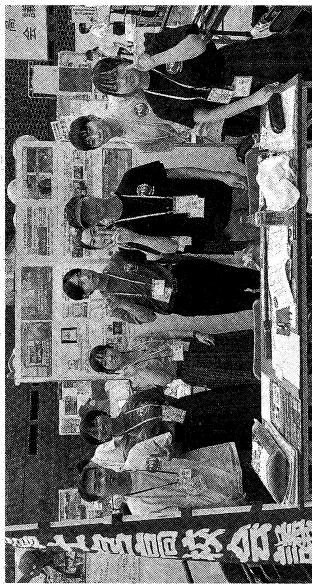


高校会議所が全国交流 ボランティア・アワードに参加



富士宮高校会議所のベース(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、東京都新宿区で開かれた「高校生ボランティア・アワード」の全国大会に参加した。オリジナル堆肥マスマス元肥(げんぱい)を活用したSDGs活動実績を発表し、地域を元気にするボランティア活動に励む高校生たちと交流の輪を広げた。

高校生ボランティア・アワードは、公益財団法人風人基金が平成28年から実施する「SDGs活動発表会」で地元の高校生が集まつた。同会は毎年実施。全国各地で地元な奉仕活動に取り組む高校生の発表の場で、今回は87団体が集まつた。同会は7月のオンライン活動発表会で発表された発表団体に選ばれて参加した。

富士宮高校会議所は、7月のオンライン活動発表会で発表された発表団体に選ばれて参加した。マスマス元肥は、業廃棄物として処理されるべきマスマスの残業廃棄物として処理され、それを作つた堆肥。それを使つて栽培した農作物からスイーツなどを販売して、耕作放棄地での有効活用も進めている。

発表では、小学生と一緒にビマワリを栽培するほか、ジャパンボカボチャの栽培を呼び掛けたり、精油を目指してコシテストにつなげてコンテストに参加したりなど、多くの新たな取り組みを紹介した。多くの人がブースを訪問し、興味深く話を聞いてくれたという。メンバ一人一人がアドバイスをもらったりと充実した交流ができる」と報告した。